

学校要覧



校歌

一 桜並木ぬけて 一步踏み出す

今日も友と出会い 笑顔の花咲く

ふたつの枝広げ ひとつの大樹

しなやかに伸びゆく みんなの若葉台

二 金の銀杏並木 揺れて囁く

同じ時を刻み 思いを重ねる

ひとりひとりの実が 輝く大樹

美しく色づく みんなの若葉台

三 遙か空に向かい 翼広げて

未来見つめてゆく 希望のまなざし

華の蕾抱いて ふくらむ大樹

大きく羽ばたく みんなの若葉台

横浜市立若葉台特別支援学校（通称名 横浜わかば学園）

〒241-0801 神奈川県横浜市旭区若葉台2丁目1-1

電話 045(923)1300

FAX 045(923)1305

目 次

1	学校概要	
	(1) 校名等	1
	(2) 学校教育目標	1
	(3) 沿革	1
	(4) 教職員	1
2	肢体不自由教育部門[A部門]	2
	I 教育課程	2
	II 学校行事年間計画	7
	III 教育の特色	8
	IV 日課表	9
	V 児童生徒数	10
3	知的障害教育部門高等部[B部門]	11
	I B部門の特色	11
	II B部門教育課程編成方針	12
	III 生徒の実態	15
	IV 年間行事計画	16
4	校舎平面図	17
5	交通アクセス	18

開校宣言

一人ひとりを大切にした教育を行おうという理念のもと横浜市旭区若葉台二丁目一番一号に横浜市立では初めて肢体不自由と知的障害の教育部門を併設した横浜市立若葉台特別支援学校を開設します

地域とともに歩み自立と社会参加を目指す教育を充実させた学校に発展することを期待しここに開校を宣言します

平成三十五年 一月 一日

横浜市教育委員会



1 学校概要

(1) 校名等

校名 横浜市立若葉台特別支援学校（通称 横浜わかば学園）
 校種 特別支援学校（肢体不自由教育部門[A部門]小学部・中学部・高等部
 知的障害教育部門高等部[B部門]）
 所在地 〒241-0801 横浜市旭区若葉台2丁目1-1
 TEL (045) 923-1300 FAX (045) 923-1305
 施設概要 校地面積 19,063㎡
 校舎構造 鉄筋コンクリート3階建（一部4階）
 延床面積 9,400㎡

(2) 学校教育目標

一人ひとりを大切にした教育を行い、地域とともに歩み、自立と社会参加を目指す教育を充実させます。

- 一人ひとりに応じた学び、コミュニケーションを大切にした教育を行います。（知）
- 一人ひとりの自他を大切にできる気持ちや態度を育てる教育を行います。（徳）
- 一人ひとりの体と安全を最優先した教育を行います。（体）
- 一人ひとりの社会の一員としての気持ちや態度を育てる教育を行います。（公・開）

(3) 沿革

平成24. 12. 31 横浜市立新治特別支援学校(肢体不自由教育部門)移転
 平成25. 1. 1 横浜市立若葉台特別支援学校(横浜わかば学園)開校
 平成25. 1. 9 横浜市立若葉台特別支援学校開校宣言式
 平成25. 4. 1 横浜市立若葉台特別支援学校知的障害教育部門高等部開設
 平成25. 4. 26 横浜市立若葉台特別支援学校・開校式典
 平成26. 4. 1 学校運営協議会設置
 平成29. 1. 27 キャリア教育優良校 文部科学大臣表彰受賞
 平成29. 4. 26 『カフェわかば』開店
 平成30. 3. 12 横浜市優秀教育実践校表彰受賞
 令和2. 4. 23 読書活動推進 文部科学大臣表彰受賞
 令和3. 11.19 優良PTA文部科学大臣表彰

(4) 教職員

	校長	副校長	事務長	主幹教諭	(内数)主幹養護教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	講師	事務職員	学校栄養職員	技能職員・用務	技能職員・給食	学校看護師	図書館司書	就労支援員	介助員・給食アルバイト	職員室アシスタント	AET・IUJ	ICT支援員	合計											
																						学校医	学校歯科医	学校薬剤師	リハ科専門医	小児神経科専門医	障害者歯科専門医	スクールカウンセラー	スクールソーシャルワーカー			
男	1	2	1	6		30			3	1		1					1					45	3				1					
女				3		53	2		4	3	1	1	3	6	1	1	15	1	2	1		97		1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	1	2	1	9	0	83	2	0	7	4	1	2	3	6	1	1	16	1	2	1		142	3	1	1	1	2	1	1	1	1	1

2 肢体不自由教育部門[A部門]

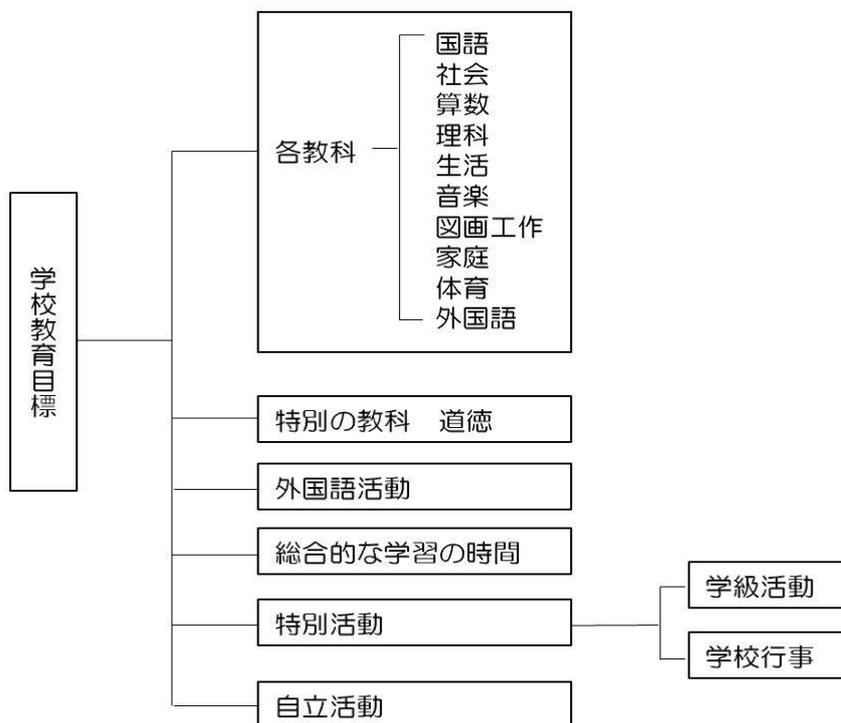
I 教育課程

(1) 教育方針

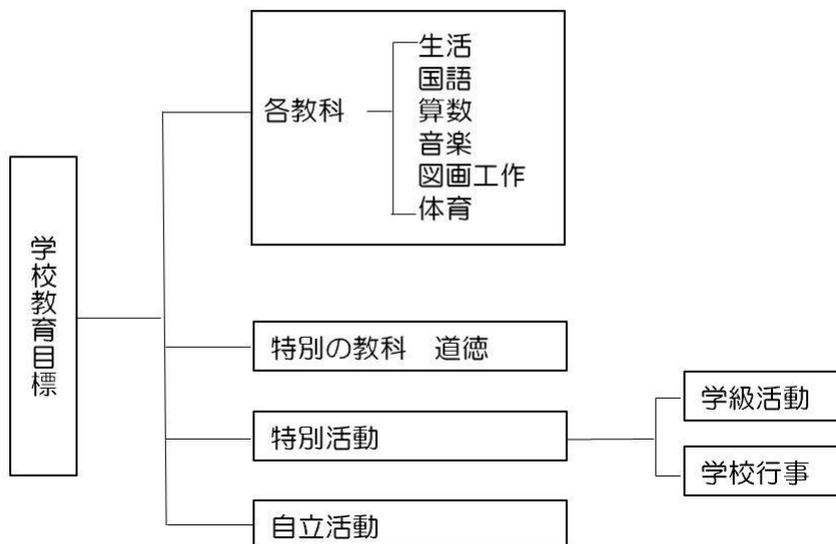
- ① 個に応じた指導を行います。
- ② 集団づくりを目指した指導を行います。
- ③ 子どもをとりまく人々との連携をはかります。
- ④ 学校や地域の特色を生かして指導を行います。
- ⑤ 全教職員の協力のもとに充実した指導を行います。
- ⑥ 社会参加に向けて充実した指導を行います。（高等部）

(2) 構造図

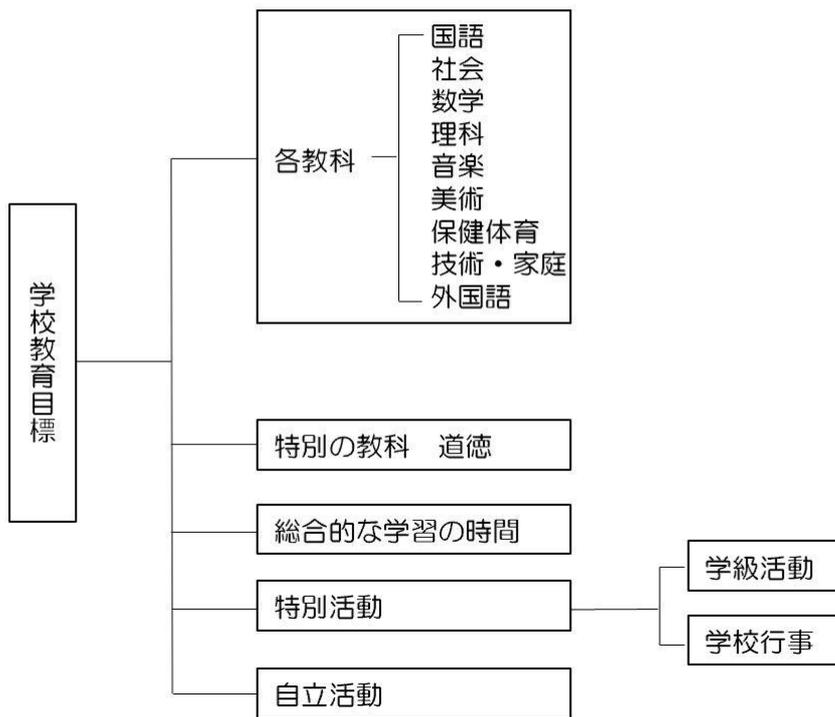
教育課程の構造図 小学部 第I類型



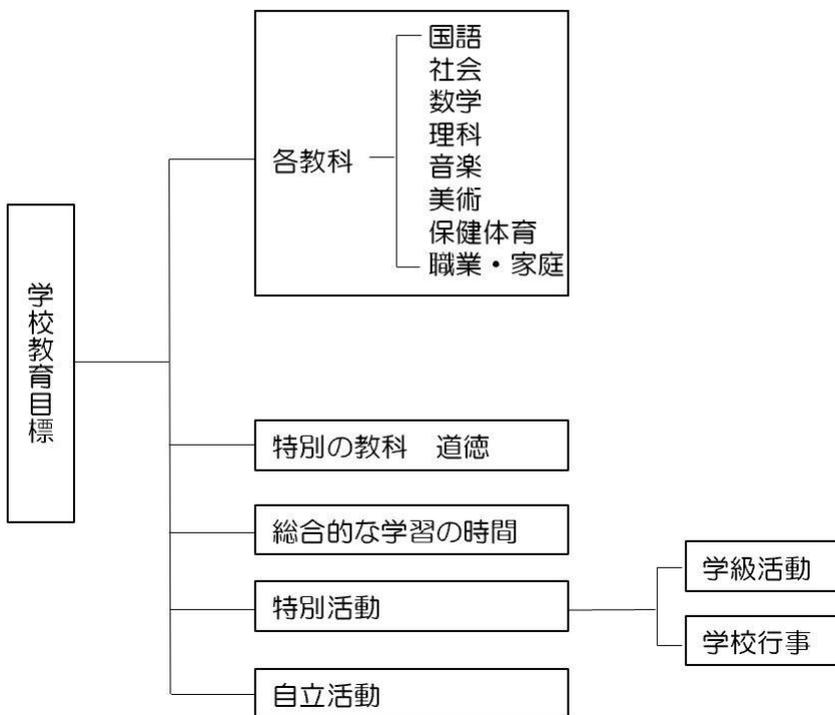
教育課程の構造図 小学部 第II・III類型



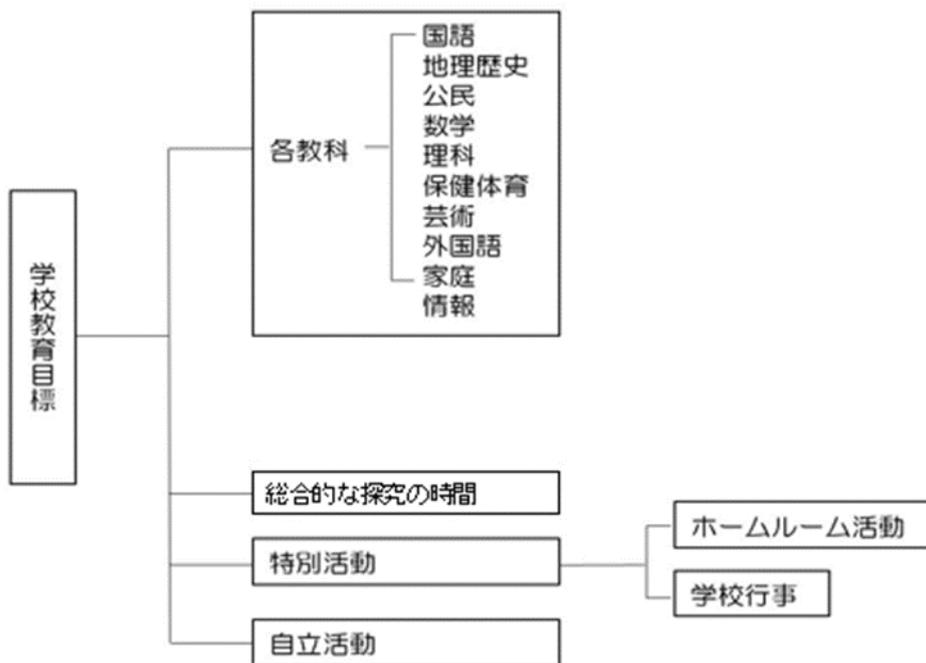
教育課程の構造図 中学部 第I類型



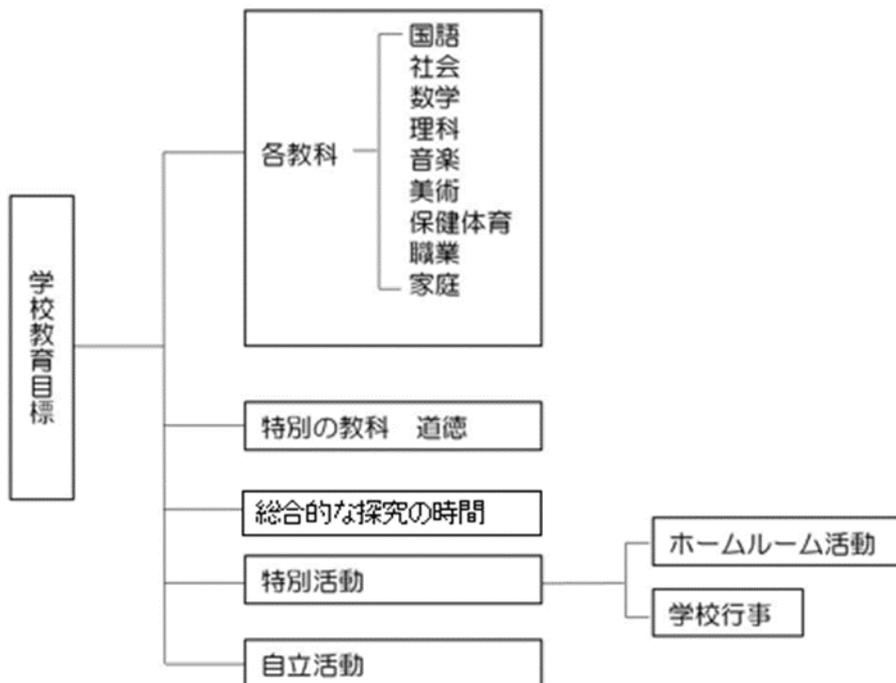
教育課程の構造図 中学部 第II・III類型



教育課程の構造図 高等部 第I類型



教育課程の構造図 高等部 第II・III類型



教育課程の類型について

名称	教育課程	各教科の目標・内容
第Ⅰ類型	準ずる教育課程 (下学年・下学部を含む)	小・中・高の各教科の目標・内容での学習を主とする
第Ⅱ類型	知的代替の教育課程	知的教科の目標・内容での学習を主とする
第Ⅲ類型	自立活動主の教育課程	各教科等の一部を自立活動に替える

- 第Ⅰ類型：
知的障害を有しないと認定された児童生徒は原則としてこの類型で教育課程を編成する。また、知的障害を有する児童生徒のうち、小・中・高の各教科等の学習が適当な場合はこの類型で教育課程を編成する。(ただし、小学部3段階以上、中学部2段階以上の規定あり)
所属する学部の全ての各教科等の名称で行う。(目標・内容は実態に応じる)
- 第Ⅱ類型：
課題学習・集団学習の時間で、知的教科を中心に学習を行う。課題学習では、各教科等ならびに、自立活動を適切に設定して行い、必要に応じて小グループでの学習も工夫して行う。
- 第Ⅲ類型：
知的教科での学習も行うが、自立活動の時間が教育課程全体の半分以上を占める。課題学習の時間は、自立活動を中心に行い、集団学習では知的教科を扱う。

第Ⅱ・Ⅲ類型については、同じ段階の目標だからといって必ずしも同じ内容の学習ができるわけではないことに留意する。また、教科と自立活動の割合も一人ひとり違ってくることが考えられる。

(3) 自立活動

自立活動の目標 (学習指導要領)

個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達を基盤を培う。

自立活動についての基本的な考え方

学習指導要領に示された内容の中から、個々の必要に応じて選択し関連づけて指導します。
児童生徒一人ひとりの実態に即した「個別の指導計画」をもとに、学習します。

【学習の様子】

国語・算数



集団学習：「音楽」「図工美術」「体育」「生活/理科社会」を行います。

音楽



図画工作(美術)



体育(保健体育)



生活(理科社会)

苗植え



種まき



校外散策



野菜の収穫



自立活動



(4) 特別活動： 特別活動についての基本的な考え方

- I 集団活動を通して社会性を伸ばし、「集団づくり」を目指すこと。
- II 生活年齢を考慮すること。
- III 個々の発達を促すこと。
- IV 興味・関心の幅を広げ、個性を伸ばすこと。
- V 学習の成果を発揮すること。

①学級活動（ホームルーム活動）

朝の会（朝のホームルーム）：朝のあいさつ、朝の歌、日付・お天気調べ、お名前呼び、昨日の様子、今日の学習、給食発表、今月の歌などクラスごとに行っています。



学級活動（ホームルーム活動）：季節を感じる、友達との触れ合い、散歩に行くなどクラスごとに計画し学習しています。

お誕生日会



お正月遊び



ポッチャ

地域の公園



②学校行事

「儀式的行事」「文化的行事」「勤労生産・奉仕的行事」「健康安全・体育的行事」「遠足（旅行）・集団宿泊的行事」があります。

II 主な学校行事年間計画

	儀式的行事	文化的行事	健康安全・体育的行事	遠足（旅行）・集団宿泊的行事	勤労生産・奉仕的行事
4月	入学式、前期始業式、着任式、対面式 		健康診断 身長体重頭囲測定 ※体重測定は毎月 緊急下校訓練 防災訓練(火災)		
5月	地域訪問		健康診断 運動会		
6月				、中学部1年遠足 小学部5年宿泊学習	高等部3年進路校外実習
7月	土曜参観		非常食摂食体験	中学部2年宿泊学習 高等部2年宿泊学習	
9月			身長体重測定 総合防災訓練(地震)	小学部1.2年遠足、小学部6年修学旅行、	
10月	前期終業式 後期始業式			小学部3・4年遠足、 高等部1年遠足、	
11月		PTAバザー 公開授業 学習発表展覧会		高等部3年修学旅行、中学部3年修学旅行	中学部3年進路体験学習
12月					高等部入学検査
1月			身体重測定		就学準備面接
2月		卒業を祝う会			就学準備面接
3月	卒業証書授与式 修了式 離任式				小学部高等部入学説明会

Ⅲ 教育の特色

(1) 通学

スクールバスで



自家用車で



(2) 訪問教育



障害の状態等で通学が困難な児童生徒には、訪問教育を行っています。指導内容は、本校の教育内容に合わせて児童生徒の実態および状態を考慮しながら訪問の回数、時間等を定めて指導しています。

(3) 交流教育<交流及び共同学習>

あいさつ交流

コラボパン

わかばフライデー

- 朝のあいさつ交流
- ふれあい交流
- プレイルーム交流
- お昼の放送交流
- ふれあい交流デー
- 行事交流
- わかばフライデー



運動会

対面式



○地域交流

中学部遠足：若葉台ショッピングセンター

「おはなしのこみち」お話会



(4) 給食

一人ひとりの食べ方に合わせて、食形態や食具の工夫などをして安全に食事がとれるようにしています。胃ろう食注入も実施しています。

常食



軟菜



まとまりマッシュ



ムース



まとまりペースト



IV 日課表

※「朝の会」、「帰りの会」は、高等部では「朝のホームルーム」、「帰りのホームルーム」と読みかえる。

月・火・木・金 (15:00下校)	
9:30~10:00	朝の活動
10:00~10:20	朝の会 (朝のHR)
10:20~10:55	1校時
10:55~11:30	2校時
11:30~12:05	3校時
12:05~13:25	給食・昼休み
13:25~14:00	4校時
14:00~14:35	5校時
14:35~14:45	下校準備
14:45~14:50	帰りの会 (帰りのHR)
14:50~15:00	下校指導

水曜日・B短 (14:00下校)	
9:30~10:00	朝の活動
10:00~10:20	朝の会 (朝のHR)
10:20~10:55	1校時
10:55~11:30	2校時
11:30~12:05	3校時
12:05~13:35	給食・昼休み
13:35~13:45	下校準備
13:45~13:50	帰りの会 (帰りのHR)
13:50~14:00	下校指導

A短（11：50下校）	
9：30～10：00	朝の活動
10：00～10：15	朝の会（朝のHR）
10：15～10：50	1校時
10：50～11：25	2校時
11：25～11：35	下校準備
11：35～11：40	帰りの会（帰りのHR）
11：40～11：50	下校指導

※ 児童生徒の学習状況で必要がある場合は、個別の教育課程および時程表を編成しています。

○平常： 9：30 登校—15：00 下校 （水曜校時 14:00 下校）

○A 短縮：9：30 登校—11：50 下校

○B 短縮：9：30 登校—14：00 下校

V 児童生徒数・学級数【2022. 5. 1現在】

【児童生徒数】

a. 学年別 下段小数字は訪問指導在籍数(内数)

学部	小学部							中学部				高等部				合計
	1	2	3	4	5	6	学部計	1	2	3	学部計	1	2	3	学部計	
男	3	4		5	7	4	23	6	3	3	12	3	3	2	8	43
					1		1	1			1			1	1	3
女	5	4	2	4	4	1	20	4	3	2	9	3	4	4	11	40
	1						1			1	1					2
計	8	8	2	9	11	5	43	10	6	5	21	6	7	6	19	83
	1				1		2	1		1	2			1	1	5

b. 居住区別 下段小数字は訪問指導在籍数(内数)

学部	小学部							中学部				高等部				合計
	1	2	3	4	5	6	学部計	1	2	3	学部計	1	2	3	学部計	
緑	4	4	1	4	6		19	4	2	1	7	3	2	3	8	34
					1		1									1
青葉				1	1	3	5	4	1	2	7	2	2	2	6	18
										1	1			1	1	2
都筑	3	1		3	1	1	9		2		2	1			1	12
旭	1	3	1		2	1	8	2		1	3		2	2	4	15
瀬谷					1		1		1	1	2		1		1	4
計	8	8	2	8	11	5	42	10	6	5	21	6	7	7	20	83
					1		1			1	1			1	1	3

3 知的障害教育部門高等部[B部門]

I B部門の特色「生徒全員の企業就労を目指します」

(1) 地域に展開する校内実習

校内実習では地域との連携を重視します。オフィスサポートコースは地域からの受注を受けて行う名刺や印刷物制作、ビルメンテナンスコースは市営バスの清掃委託、パン工房コースは地域交流室でのパン販売などの学習を通して、地域の方々と積極的に交流し、「働くこと」や「コミュニケーション」、「働く喜び」を実地に学んでいきます。

(2) 3学年縦割り集団で育てる「異年齢コミュニケーション力」

校内実習は1年生から3年生までが一つの集団で授業を行います。先輩、後輩としてのかかわりやコミュニケーションを通して自己肯定感を高めたり、マナーを身につけたりすることで、社会に出たあとに異年齢の人たちとの良好な人間関係を形成できる力を育てます。

(3) 現場実習の積み重ねで育てる「進路選択できる力」

- ① **働くことを体感する実習（グループ）**：1年生（秋）
1週間程度を1回、若葉台地域を中心に。
- ② **自分の適性を知る実習（個人）**：2年生（夏）（秋）
多様な職種や職場を経験する実習、3日間程度を1単位に4回。
- ③ **自分の適性を見極める実習（個人）**：2年生（冬）
1週間程度を1回、実習先の職種は希望を取って調整します。
- ④ **働くことを目指し意識する実習（個人）**：3年生（春）（秋）
2週間（～4週間）程度を2～3回。

(4) 授業と現場実習をつなげるキャリアデザイン

キャリアデザインシートを活用して、地域や企業での実習で学んだことをふり返り、身に付けた力を整理して活用したり、課題を学校の授業にフィードバックしたりして、次の実習に結びつけていきます。このサイクルを卒業までに8回～9回経験していく中で働く力を育てます。

(5) 肢体不自由教育部門（A部門）との交流及び共同学習

行事や休み時間の交流を通して、仲間意識を育み、だれとでもコミュニケーションが図れる人材を育てます。特に運動会やふれあい交流デーはA部門の児童生徒と一日かけて、交流及び共同学習をします。

Ⅱ. 教育課程編成方針「キャリア教育と地域連携を両輪とした教育課程」

(1) 教育課程編成方針

B部門の生徒は卒業後、職業人として社会の中で前向きに生きていくことを目指します。そのためキャリア教育^(注)の概念を中心に据えて教育課程を編成しました。教育課程編成のポイントは地域や企業を学びの場として意識し、授業を見つめ直すことと、生徒が自分の将来像を考え、働くことへの関心や意欲を高めるための授業を工夫することの二点です。

知的高等部の教育課程は、教科と領域の二つに分かれています。本校では、その中の教科を一般教科・校内実習と現場実習にわけ、領域であるCC・CG（キャリアカウンセリング・キャリアガイダンス）を土台に一般教科・校内実習と現場実習の中で、学んでいきます。一般教科や校内実習で学んだことを企業や地域での現場実習で実践します。そこで学んだことをふり返り、課題は学校の授業の中にフィードバックして、次の実習に結びつけていくというスパイラルを形成し生徒のキャリア発達を促していきます。教科は3種類の教科で構成しています。国語や数学などの一般教科、そして、職業である校内実習と現場実習です。校内実習はビルメンテナンス、オフィスサポート、パン工場の3コースでおこないます。さらにキャリア教育の中核をなす領域として、CC・CG（キャリアカウンセリング・キャリアガイダンス）という総合的な探求の時間を学校独自の名前を付け実施しています。

一般教科では社会自立のために必要な内容いわゆる社会に出た時に役に立つ内容を精選して、基礎学力や基礎体力を育みます。さらに生涯にわたるライフキャリア教育を意識して学習を組み立てます。

校内実習では地域との連携を重視します。ビルメンテナンスは市バスの車内清掃や営業所清掃、オフィスサポートは地域からの受注を受けて行う名刺や印刷物制作、パン工房は地域交流室やケアプラザでのパン販売などの学習を通して、地域の方々と積極的に交流し、「働くこと」や「働く喜び」を実地に学んでいきます。専門高校等とは異なり、特定の職種に就くためのスキルを獲得したり、資格を取得したりする職業訓練を目的とするのではなく、働くことに向かう意欲や態度、姿勢、社会性やコミュニケーション力を養うことに重点を置いています。1年はすべてのコースをローテーションし、2年時に一つのコースを選びます。なお、校内実習は1年から3年までの縦割り集団で実施します。

現場実習では、一般教科や校内実習で学んだことを実際の会社の実習に行くことで、生かすことができるかを試す場です。その中で社会に出る時に必要な社会性やスキルなどを実際の現場で体感し、課題を意識することが必要です。現場実習で感じた課題をふり返り、一般教科や校内実習に還元し学ぶために行います。また、社会に出るために準備をする役割も担っているので、学年ごとにねらいを定めて実施します。1年では、「働くことを体感する」というねらいで、若葉台地域を中心に、1週間程度の現場実習を行います。2年の夏と秋には、「自分の適性を知る」ことをねらい、近隣地域（横浜線沿線など）を中心に3日間程度を1単位とした複数回の実習を行い、清掃・環境系、事務・情報処理系、製造・物流系、食品・福祉系など多様な職場や職種を経験します。冬は「自分の適性を見極める」というねらいのもと自分が選んだ職種で1週間程度の実習を行います。3年は、「就労体験実習」を、春と秋に2週間（～4週間）程度の実習を行います。この実習は就労を目指すための企業実習です。

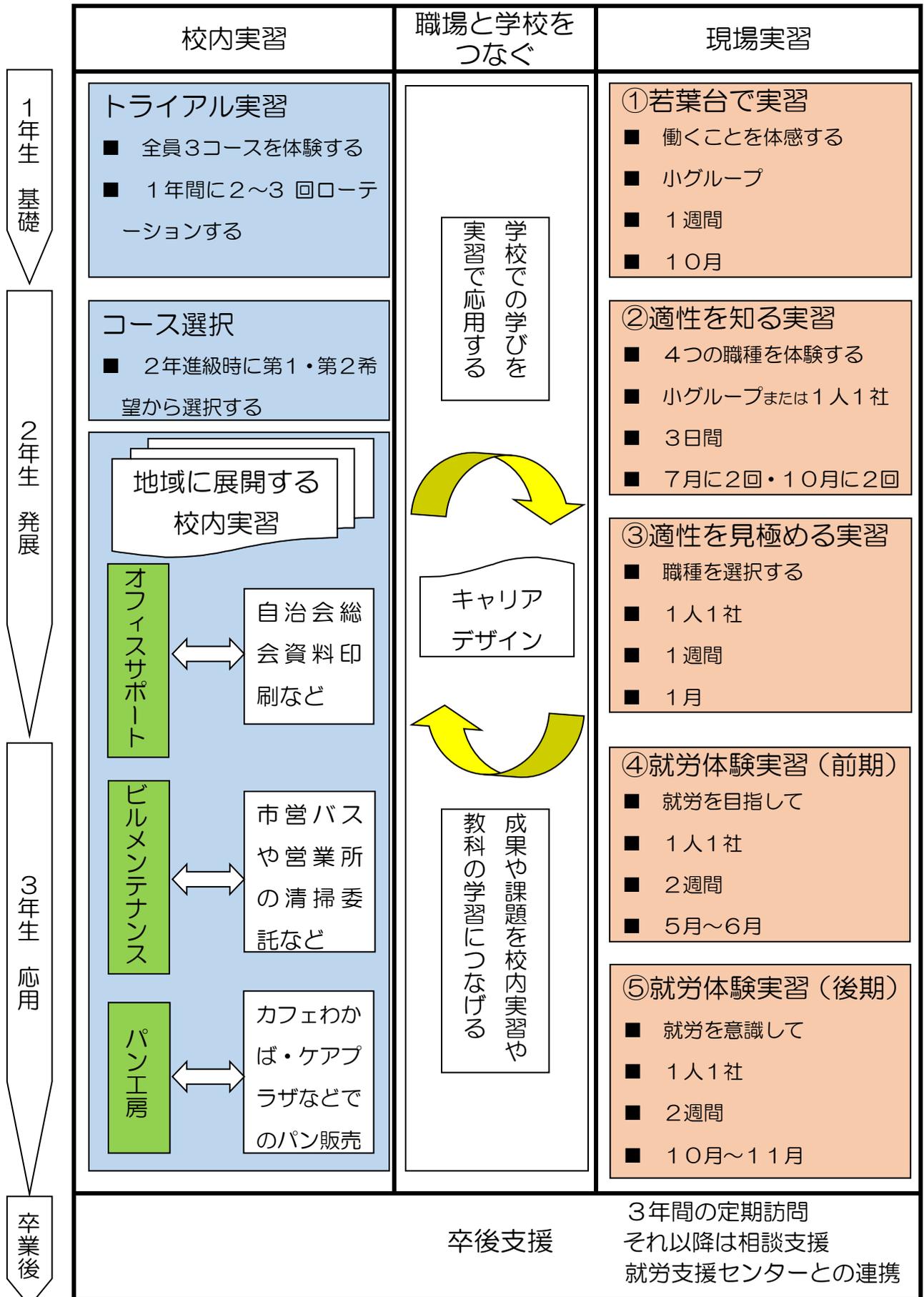
CC・CGは現場実習をふり返り、課題を見つけ一般教科や校内実習の中で身に付けた力を整理して活用する場です。そのツールとなるのがキャリアデザインです。キャリアデザインを通して生徒自身が目標を立て（Plan）、実施し（Do）、確認を行い（Check）、また、次の課題に取り組んでいく（Action）というPDCAサイクルを回していくことで、成長を促していきます。

また、様々な場面で、生徒自身によりよい選択と決定を促す場面を多く取り入れます。

(注)キャリア教育

一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促す教育（中教審答申 H23年1月）

(2) 3年間を通じた教育の概要 ～全体イメージ図～



(3) 時間割

令和4年 時間割

職員打合せ		8:30-8:35全体						8:35-8:45部門別																											
校時	曜日	月						火						水						木						金									
	グループ	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B												
	学年	1	2	1	2	1	3	1	2	1	3	1	2	1	3	1	2	1	3	1	2	1	3												
	組	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3										
0	8:45-8:55	S.H.R						S.H.R						S.H.R																					
1	9:00-9:50	情報	音楽	国語	職業基礎	体育	校内実習	理科		国語		校内実習	情報	音楽		理科		国語		校内実習	情報	音楽		家庭		美術		校内実習	情報	音楽		家庭			
休憩	5分							美術		情報			美術		数学		国語		情報			美術		数学		家庭									
2	9:55-10:45	英語	国語	職業基礎	情報	音楽		国語		情報			美術	数学		国語		情報			美術	数学		家庭		美術			美術	数学		家庭			
休憩	10分							家庭		美術			音楽		数学		情報		美術			音楽		数学		家庭									
3	10:55-11:45	音楽	英語	情報	国語	社会	校内実習	情報		美術		校内実習	音楽		数学		情報		校内実習	音楽		数学		情報		校内実習	音楽		数学		家庭				
休憩	5分							家庭		美術			社会		音楽		理科			社会		音楽		家庭											
4	11:50-12:40	国語	情報	体育	社会	国語		理科					社会		音楽		理科			社会		音楽		理科			社会		音楽						
休憩	45分	昼食						昼食						昼食						昼食															
	グループ	全	全	全	全	全	A	B	A	B	全	A	B	全	全	A	B	A	B	全	全	全	全	全	全	全									
	学年	1	2	1	2	3	1	2	1	3	3	1	2	1	3	3	1	2	1	3	3	1	2	1	3	1	2	1	3						
	組	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3				
5	13:25-14:15	CC・CG	CC・CG	CC・CG	CC・CG	CC・CG	体育	音楽	国語	校内実習	数学	職業基礎	校内実習	体育	体育	国語	音楽	校内実習	特活・道徳	特活・道徳	特活・道徳	特活・道徳	特活・道徳	特活・道徳											
休憩	5分	S.H.R・清掃						S.H.R・清掃						S.H.R・清掃						S.H.R・清掃															
6	14:20-15:10						CC・CG	体育			職業基礎	数学		CC・CG	体育	CC・CG																			
	15:15-15:40	S.H.R・清掃						S.H.R・清掃						S.H.R・清掃						S.H.R・清掃															
	17:00最終下校	生徒の課外活動(部活等)																																	

- ①学年は3クラス編成を原則とする。
- ②1クラスをAとBに分ける。Aが校内実習を履修している時にBは一般教科を履修する。
- ③校内実習は「ビルメンテナンス」「オフィスサポート」「パン工房」の3コースで1～3年縦割りで実施する。(1年3コース履修、2・3年は1コース履修)

(4) 授業時間

	1年	2年	3年
国語	2	2	2
社会	1	0	1
数学	1	1	1
理科	1	1	0
音楽	2	2	2
美術	1	2.1	2.1
体育	3.1	2	2
家庭科	2.1	2.1	2.1
英語	1	0	0
情報	2	2	1
職業基礎	1	1	0
職業に関する教科	8.4	10.5	12.6
キャリアガイダンス	1	1	1
キャリアカウンセリング*	1	1	1
LHR・道徳・委員会	1	1	1
自立活動	1	1	1
計(週時数)	29.6	29.7	29.8
総授業数(年間時数)	1160	1160	1073
	現場実習時間等含む	現場実習時間等含む	現場実習時間等含む

(5) 教科書

	教科	使用学年	教科書名	出版社
1	国語	1～3年	くらしに役立つ国語	東洋館
2	社会	1・3年	くらしに役立つ社会	東洋館
3	社会	1～3年	読んで見て楽しむ日本地図帳増補改訂版	学研教育出版
4	数学	1～3年	くらしに役立つ数学	東洋館
5	理科	1・2年	くらしに役立つ理科	東洋館
6	理科	1・2年	グラフィックサイエンス最新理科資料集	明治図書
7	音楽	1～3年	高校生の音楽1	教育芸術社
8	美術	1～3年	高校美術3	日本文教出版
10	家庭科	1～3年	新家庭科総合資料	正進社
11	情報	1～3年	趣味発見！ワード2013入門編	FOM出版
12	情報	1～3年	趣味発見！エクセル2013入門編	FOM出版
13	英語	1年	パッと見てわかる！英単語イラストブック	ナツメ社
14	総合	1年	くらしに役立つソーシャルスキル	東洋館
15	総合	2・3年	「働く」教科書15人の先輩とやりたい仕事を見つけよう！	中央法規
16	職業	1～3年	知的障害や自閉症の人たちのための見てわかるビジネスマナー集	ジアース新社
18	職業	1～3年	ひとりだちするためのライフキャリア教育	日本教育研究出版

Ⅲ. 生徒の実態

(1) 学年別生徒数

学 年	1年	2年	3年	計
人 数	29	25	28	82
クラス数	3	3	3	9



【オフィスサポート】

(2) 行政区別生徒数

区名	青葉	旭	泉	磯子	神奈川	金沢	港南	港北	栄	瀬谷	都筑	鶴見	戸塚	中	西	保土ヶ谷	緑	南	合計
1年	4	8	1	0	0	0	2	2	0	2	3	0	0	0	0	2	5	0	29
2年	2	7	0	0	2	0	0	2	0	6	1	0	0	1	0	1	3	0	25
3年	2	3	1	0	4	0	0	3	0	5	4	0	0	0	0	2	3	1	28
計	8	18	2	0	6	0	2	7	0	13	8	0	0	1	0	5	11	1	82

IV. 年間行事計画 令和4年度

月	予 定
4	春季休業 始業式 着任式 入学式 身体計測視力聴力検査 新入生オリエンテーション 若葉台散策 修学旅行(3年) あいさつ交流(1年) 対面式 耳鼻科検診 眼科検診 歯科検診 全校避難訓練 開校記念日 スポーツデイ 保護者会 修学旅行説明会
5	運動会 内科検診 心電図(1年) ビジネスマナー(3年) 企業見学会 進路説明 会(2・3年) キャリアデザイン相談会(1年) 修学旅行(2年) 現場実習(3年) 家庭訪問(1年) 尿検査
6	ハローワーク講話(2年) 進路説明会(1年) 結核検診(1年) 現場実習(2年) 職場見学(1年) 中三見学会 小六保護者見学会
7	キャリアデザイン相談会(2年) ふれあい交流 三者面談 大清掃 夏休み前指導・集会 土曜授業参観 小中教員見学会 緊急時下校確認訓練 PTA進路先見学会 夏季休業
8	夏季休業
9	進路説明会(1～3年) 求職登録(3年) 総合防災訓練 期末テスト ケースワーカー面談(3年) キャリアデザイン相談会(1年)
10	ふれあい交流 前期終業式 後期始業式 現場実習(1～3年) 企業見学会 中二見学会
11	キャリアデザイン相談会(2年) オープンスクール 歯科巡回指導 進路三者面談(2年)
12	入学選抜検査 ミュージックデイ スポーツデイ 三者面談(13年) 進路説明会(2年) 大清掃 冬休み前指導・集会 冬季休業
1	冬休み後集会 キャリアデザイン相談会(3年) 職場見学会(1年) 現場実習(2年) 進路・教育課程説明会(1年)
2	キャリアデザイン相談会(1・2年) 公開研究会 学年末テスト 進路説明会(2年) 特別時間割・校外学習(3年) 学習発表会(3年) 卒業を祝う会 三者面談(3年)
3	卒業式 三者面談(1・2年) 校外学習(1年) 学習発表会(1・2年) 大清掃 教室移動 離任式 修了式 学年末休業

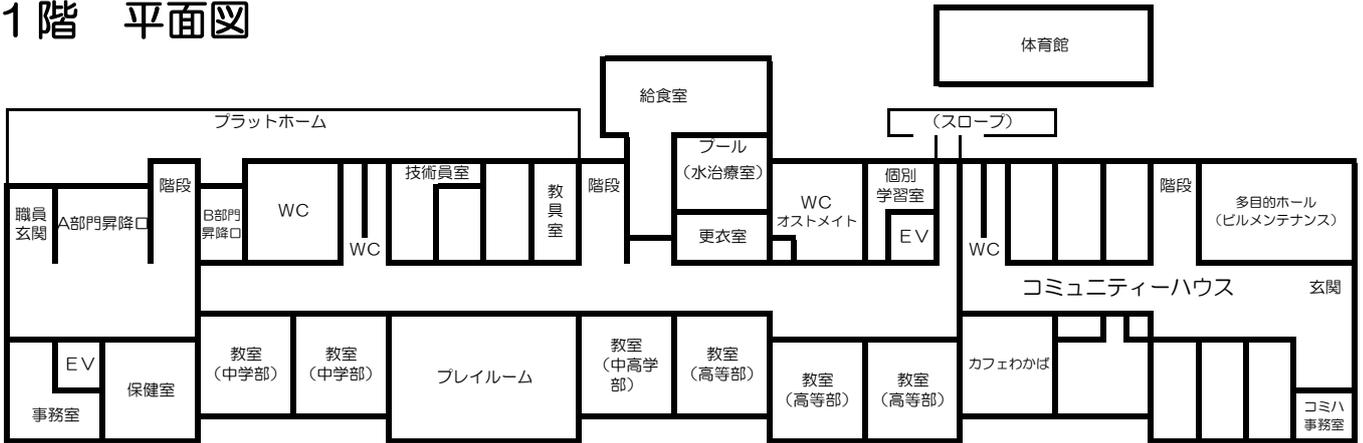


【ビルメンテナンス】

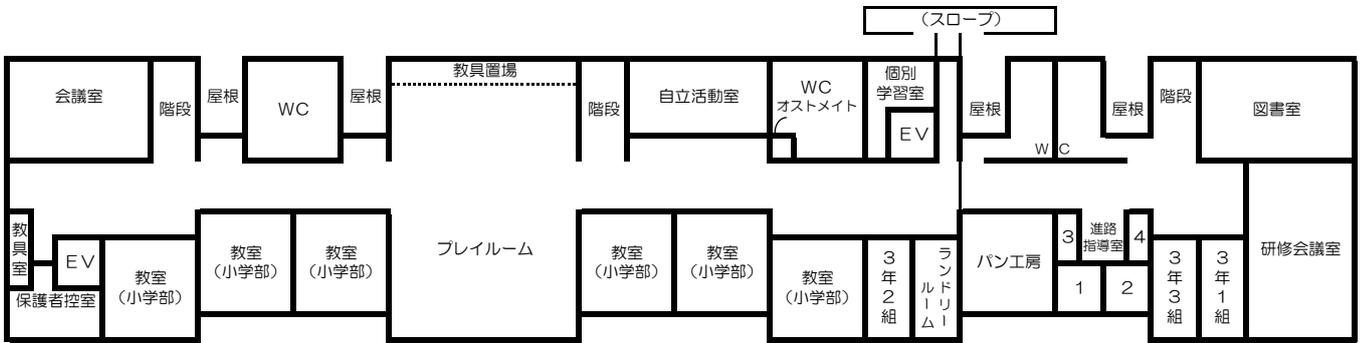


【パン工房】

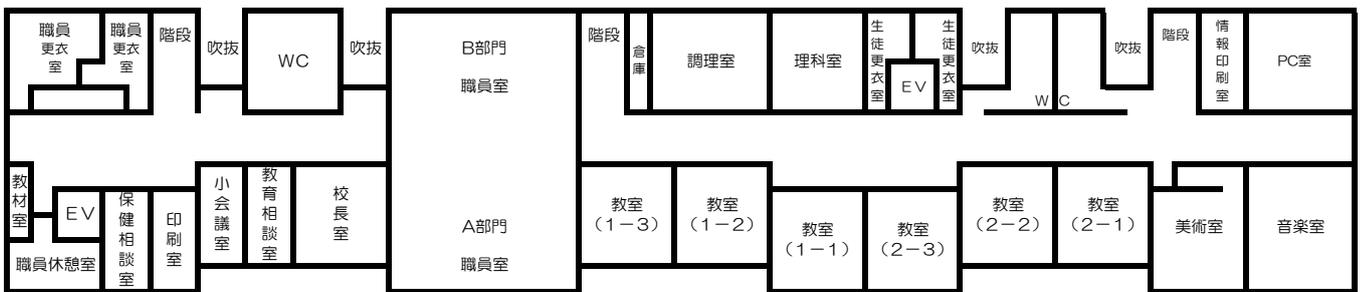
1階 平面図



2階 平面図

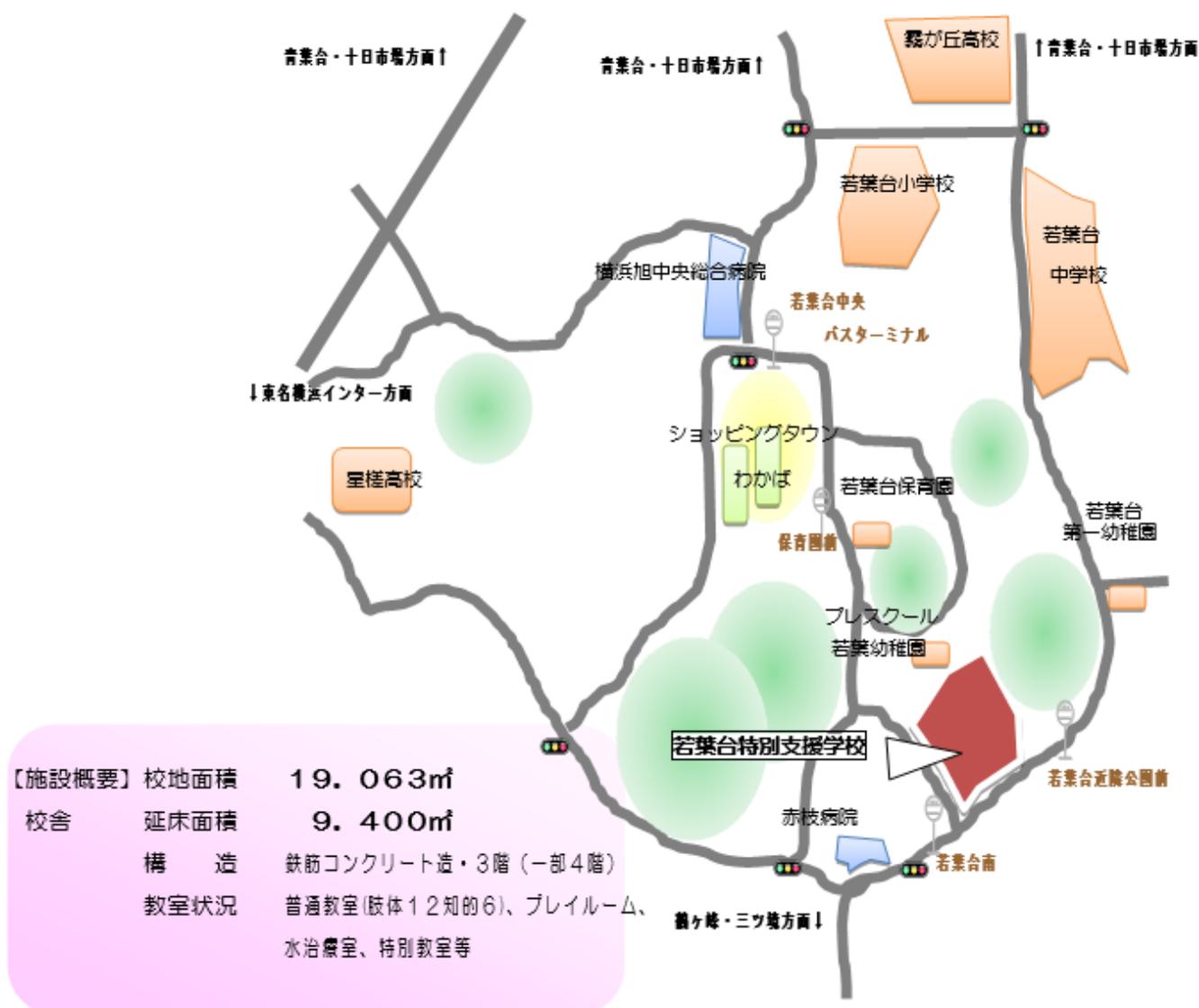


3階 平面図



5 交通アクセス

- JR横浜線 「十日市場駅」下車
市営バス 65 系統『若葉台中央』行き 15分 「若葉台近隣公園前」下車 徒歩3分
- 東急田園都市線 「青葉台」下車
市営バス 65 系統『若葉台中央』行き 25分 「若葉台近隣公園前」下車 徒歩3分
- 相鉄線 「三ツ境駅」下車
神奈川中央バス・相鉄バス 116 系統 『近隣公園経由 若葉台中央』行き 20分
「若葉台南」下車 徒歩2分



印刷・製本： 横浜わかば学園（若葉台特別支援学校）オフィスサポートコース



〒241-0801 横浜市旭区若葉台2丁目1-1
TEL：045-923-1300 FAX:045-923-1305